

2026年1月16日

課題名：膠原病領域におけるバイオシミラーへの切り替えにに影響する因子と薬剤師介入の意義について

◆研究の目的と概要◆

当院では、膠原病領域におけるバイオシミラー切り替えについて薬剤師の介入効果を調べています。本研究では、バイオシミラー切り替えにおける不安や懸念点を少しでも軽減すること目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

膠原病領域における2024年1月時点でインフリキシマブ、アダリムマブ、エタネルセプトの先行バイオ医薬品を使用している患者さん。

◆研究に使用される情報・試料◆

薬剤師アンケート調査内容（BSの認知度、BSへの切り替え不安、同意意向）、性別、年齢、バイオ医薬品使用期間、アレルギー歴、副作用歴、使用しているバイオ医薬品、疾患名、BSへの切り替え有無

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2026年3月1日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
薬剤部 研究責任者 佐藤 可奈

E-mail： kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難であるとの理由が認められ、倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- ・ 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- ・ 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- ・ 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- ・ 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明